

平成29年度(28年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館・地域子育て支援拠点親子ひろば>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適當であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00~18:00)自由来館となっている。	8点
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適當であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※今回は指定管理2年目の評価のため、上記(2)を適用し、27年度の利用人数で28年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 $101\% \div \text{利用人数(延べ人数13,490人)} \div 13,386人$ 【笠原児童館】 $100\% \div \text{利用人数(延べ人数9,317人)} \div 9,333人$ 【親子ひろば】 $102\% \div \text{利用人数(延べ人数4,173人)} \div 4,053人$	【笠原児童館】 地域まつりへの参加や近隣施設への訪問、小学校でのおたより配布時の放送紹介依頼等を積極的に行い、児童館の認知度はあがっている。 また、調理室事業を多角化することで、子どもだけでなく乳幼児親子など母親の来館も増えている。 しかし、校区が広い小中学生の多くは車の送迎がないと来館が難しいことや、特に高学年は、ドッチボールなど身体を動かす遊びを好むが施設の構造上難しいことなどにより、乳幼児親子の来館者数増加に比べ小中学生の来館者数は伸び悩んでいる。 【親子ひろば】 交流事業の事業数を増やし、積極的に行った事で継続的利用者の増加につながった。継続的な来館は、仲間意識が広がって第二子の出産後の利用や参加困難な父親事業に繋がっている。 【28年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,317人 乳幼児:3,640人 小学生:2,140人 中高生:157人 大人:3,380人 <親子ひろば> 来館者数 4,173人 乳幼児:2,079人 大人:2,094人 【27年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,333人 乳幼児:3,585人 小学生:2,089人 中高生:189人 大人:3,470人 <親子ひろば> 来館者数 4,053人 乳幼児:1,955人 大人:2,098人	

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	<p><児童館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ1001名参加) ・児童を対象とした事業(計74回開催、延べ528名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計27回開催、延べ1703名参加) ・中高生事業(計7回開催、延べ15名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計30回開催、延べ451名参加) <p><親子ひろば></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流の場の提供と促進(計216回開催、延べ2366名参加) ・子育て等の相談・援助の実施(計132回開催、延べ782名参加) ・地域子育て関連の情報の提供(計34回開催、延べ510名参加) ・子育て・子育て支援に関する講習等(計39回開催、延べ384名参加) ・子育て支援について自主的な事業の実施(計73回開催、延べ1822名参加) <p>※別紙:事業評価表 参照</p>	仕様書以上 13点	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域と連携を図り、事業を行っている。 <p><笠原児童館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ひろばが併設されている利点を生かし、職員間での連携を深め共催行事や乳幼児親子対象の事業など子育て支援に特に力を入れたことで、乳幼児クラブへの参加者が増加した。他地域からの参加者も増えてきている。 ・母親クラブとの共催事業を進んで行い、事業のPRや支援をすることで多くの乳幼児親子の来館者や乳幼児他事業への参加数増加に繋がった。 <p><親子ひろば></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の気持ちに寄り添い、ニーズを吸い上げつつ子育て関連情報の提供を積極的に行った。ひろば独自のかさはら散歩やバザーは、特に利用者のニーズが高く好評である。 ・地域の方々と関わる事業を積極的に行うことで、近隣への認知度を高めた。 ・祖父母を対象とした事業(特に笠原児童館との共催)を行うことで地域との多世代交流につながっていった。 	13点
				(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	<p><児童館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計22回開催、延べ251名参加) ・児童を対象とした事業(計39回開催、延べ319名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計50回開催、延べ693名参加) ・中高生対象事業(計14回開催、延べ38名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計0回開催、延べ0名参加) <p>※別紙:事業報告書 参照</p>	例年通り 11点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 <p><笠原児童館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の調理のできる環境を活かした、おやつやお菓子プレゼント作りの事業、地域の方から学ぶ、しめ縄作りや寄せ植えの事業や児童館敷地内の畑を利用した事業など笠原児童館ならではの特色を活かした事業を行った。又ひろばや母親クラブ、他館との共催にも力を入れ、より良い内容が提供できるよう工夫しながら事業を行ってきた。広報を強化し、積極的に地域の施設や行事へ出かける事業も行った。 ・「子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進」で事業展開に至らなかったが、その他の項目では有意義な独自の取り組みが実施できた。
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数が適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			運動遊具の保守点検及び自動ドアは委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			調理室配管水漏れ修理工事(32,400円) 10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	

4. 採点表						
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
2 施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。
		②環境への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜き、スイッチをこまめに確認する。夏は冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし、暑さ対策にする高窓を開け風通しを良くする他ゴーヤ等の植物によるグリーンカーテンを作る。冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用 関係者機関への連絡はメールを利用。又祭のブースや工作ランドなどの工作事業では、ペットボトルやガチャガチャのケースやビール瓶の蓋などの廃材を活用している。 ・「段ボールコンポストの利用」 段ボールコンポストを利用し、野菜を育てている。 ・「ゴミの分別」 クラブや地域共催の調理事業時などでは、ゴミの分別を呼びかけ残菜が残らないように声をかけている。 	期待以上 3点	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施されている。 ・段ボールコンポストを利用し、野菜を育て、収穫し、調理し、そのゴミで野菜を育てるという「食の循環」を事業で実施している点は評価できる。
		③バリアフリー		玄関に車椅子用のスロープを設置しトイレには手すりがあるが、これがどのような意味を持つかを子ども達に話すようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。
		④備品管理		備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。
		⑤個人情報保護		特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館にて9月、3歳男児が遊んでいて右手首を脱臼し病院受診した。通院の必要なしとのこと。 ・児童館にて10月、乳児男児がおすわりの際、前に転倒、前歯で唇を切った。歯科医院を受診したが大事には至らなかった。
3 当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満~ 100%:4点、100%未満:3点	収入 13,933,171円 ÷ 支出 13,560,018円 ≒ 103% 【笠原児童館】 収入 10,894,531円 ÷ 支出 9,935,908円 ≒ 110% 【親子ひろば】 収入 3,038,640円 ÷ 支出 3,624,110円 ≒ 84%	105%未満 ~ 100% 4点	・笠原児童館においては、経営努力により経費削減をおこなってきたが、親子ひろばについては人件費が増加した。

4. 採点表							
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
4 より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10 期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	<児童館> ・窓口に意見箱を設置するとともに、前期・後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを行ったり、感想・意見を聞く場を設けている。 <親子ひろば> ・少子化のため公園へ出かけてもなかなか子どもがいないという利用者の声に応え、「笠原さんぽ」を積極的に実施。同世代の親子が交流できる場として参加者が定着し、好評である。 ・パズホリディを日曜日に開催してほしいとの声に応え、開所日とは別に開催している。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・親子ひろば利用者の要望に応えるため、本来休所日である日曜日に事業を行った企業努力は評価できる。	8点
		②苦情対応	5 期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通)4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等デイプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(28年度…6/28・2/10~11)また11/26~27「全国コミュニティケア集会」2/25~26「ワーカーズコープよい仕事集会」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/20健全育成専門セミナー・6/14~17児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団) 9/12館長研修会・11/2児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 7/3ぎふ木育指導者スキルアップ講習(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 9/7地域子育て支援拠点研修(主催:東濃地域子育て支援センター) 5/23普通救命救急講習(笠原消防署)・2/28防火管理者講習(多治見市消防本部)	期待以上 14点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。	14点	
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討44点以下			83点	
						全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・親子ひろばは、地域と連携した事業を積極的に行い、地域の子育て支援拠点として多くの親子の憩いの場として機能している。	良好